

令和 5 年度

事業報告書

令和5年度 事業報告について

令和5年4月 1日から

令和6年3月31日まで

I 総 括

令和5年度は、18社、153名の新規入会があった。しかし、コロナ後の影響などにより、廃業や経費削減等の理由で41社が退会し、その企業の中で100名以上が1社、50名以上が2社、と大口の会員企業が退会したことにより427名の退会となった。前年度末との比較で23社、161名減となり、令和5年度末での会員企業数は916社、会員数は13,909名という状況となった。

会員拡大については、工・産業会へチラシの同梱を12団体、約4,000枚を依頼した。生野産業会では、総会で当センターの設立趣旨などの案内をし、出席されていた当センター会員からの紹介も手伝って、4社へアプローチすることができ、1社の入会に繋がった。

また、大阪卸商連合会の関連団体である大阪管工機材商業協同組合の事務局に事業説明をし、同役員会で説明をしていただいたところ、1社の入会があり、その後、組合企業へチラシを配布した結果、数社から資料請求があった。

その他、大阪府鍍金工業組合230枚、北大阪商工会議所などの関係団体800枚などチラシ同梱を依頼した。

福利厚生事業については、コロナも落ち着き人流も増えたことから、宿泊補助やレジャー施設利用も大幅に増加した。特に東京ディズニーリゾートは40周年も重なり、計画の1.8倍(910枚)となった。自主企画事業では、新しい試みとして、アソビュー(電子クーポン)を活用することで、ナガシマスパーランドやひらかたパーク他、全国の14,000施設で利用できる電子クーポンを取り入れることができ、会員の満足度向上を図った。

特定退職金制度については、会員拡大とともに制度の認知度向上に努めた結果、追加加入や掛け金の増額の申込があった。

この制度は、従業員の退職後の生活安定を担う重要な制度であり、企業にとっても将来を担う人材確保の一助となることから、引き続き福利厚生制度の加入推進とともに退職金制度に関心をもつ企業への情報発信を積極的に行う。

その他の動きとして、令和5年度は、事務の効率化と経費削減をおこなうため、当センター事務所を昨年8月26日(土)に、大阪市中央区南船場2丁目4番20号大阪福谷ビル6階(大阪メトロ堺筋線、長堀橋駅より徒歩2分)に移転し、8月28日(月)より通常通り営業をおこなった。

来年7月、当センターは設立50周年を迎えることから、デジタル化時代の流れに乗り遅れないためにも、各種手続きの簡略化と利便性の向上を図ることを目的として、会員管理システムの電子化を進める。

II 会員数について

	令和 2 年度 実績	令和 3 年度 実績	令和 4 年度 実績	令和 5 年度 実績
年度当初企業数	1,036 社	995 社	987 社	936 社
年度末企業数	998 社	986 社	939 社	916 社
入会企業数	8 社	22 社	18 社	18 社
退会企業数	64 社	34 社	65 社	41 社
年度当初会員数	14,279 名	13,936 名	14,261 名	13,980 名
年度末会員数	13,916 名	13,939 名	14,070 名	13,909 名
入会者数	1,454 名	1,481 名	1,830 名	1,551 名
新規入会者数	89 名	182 名	459 名	153 名
追加入会者	1,375 名	1,299 名	1,371 名	1,398 名
退会者数	2,118 名	1,458 名	1,699 名	1,712 名
企業ごとの退会	887 名	214 名	245 名	427 名
退職による取消	1,231 名	1,244 名	1,454 名	1,285 名
純増減	△664 名	23 名	131 名	△161 名

III 各事業の報告

1 会員拡大等の取組みについて

(1) 各区工業会・産業会、大阪府鍍金工業組合、大阪卸商連合会等関係団体へのチラシ同梱

各工業会・産業会において約 4,000 枚、大阪府鍍金工業組合においては 230 枚、枚方市訪問介護事業者会において 800 枚のチラシを団体毎に作成し、各関係団体に向けて配布した。

また、大阪卸商連合会関係団体である大阪管工機材商業協同組合に事業説明を行い、新たな試みとして組合企業へチラシ 200 枚の配布を依頼した結果、問合せのあった数社のうち 1 社が入会へと繋がった。令和 6 年 3 月には、同様に、大阪建築金物卸商協同組合、西部工業用ゴム製品卸商業組合、大阪機械器具卸商協同組合の事務局に事業説明を行い、組合企業へのチラシの配布を依頼した。

第一生命の主催するビジネスマッチングや大阪商工会議所の大阪勧業展 2023 に出展し、勧業展では、新たな試みとして堺市サービスセンターと共同で出展し、来館者の興味を引き、認知度向上を図った。2 日間で 1,500 枚のチラシを配布し、約 30 社との名刺交換を経て、後日、2 社へ事業説明に訪問した。

(2) SNS の活用とホームページ充実への取り組み

SNS(Instagram および Facebook)を積極的に活用した広報活動を行った。また、ハッシュタグ収集システム(SNS の投稿がホームページに反映する仕組み)にて、会員の利用状況やサービス内容を写真等で投稿してもらうことで、既存会員への利用促進と未入会者への認知度の向上に努めた結果、令和 5 年度は、27 社より資料請求があり、8 社の新規入会に結びついた。

資料請求のあった企業においては、引き続き営業活動を行っていく。

2 福利厚生事業

(1) 生活安定事業

ア 慶弔給付事業

令和5年度は、昨年度と比較すると弔慰金が少し多くなっているが、ほぼ同様の給付金額であった。

給付項目	令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額
二十歳祝金	18 件	180,000 円	24 件	240,000 円
卒業祝金	6 件	60,000 円	1 件	10,000 円
結婚祝金	162 件	3,240,000 円	146 件	2,920,000 円
出産祝金	255 件	2,550,000 円	221 件	2,210,000 円
入学祝金	570 件	5,700,000 円	570 件	5,700,000 円
永年勤続（10年）	351 件	1,755,000 円	365 件	1,825,000 円
永年勤続（15年）	319 件	3,190,000 円	334 件	3,340,000 円
永年勤続（20年）	215 件	3,225,000 円	237 件	3,555,000 円
永年勤続（30年）	154 件	3,080,000 円	160 件	3,200,000 円
永年勤続（40年）	59 件	1,770,000 円	38 件	1,140,000 円
還暦祝金	255 件	2,550,000 円	241 件	2,410,000 円
金婚祝金	14 件	420,000 円	14 件	420,000 円
銀婚祝金	80 件	1,600,000 円	95 件	1,900,000 円
傷病見舞金	78 件	780,000 円	70 件	700,000 円
災害見舞金	0 件	0 円	0 件	0 円
死亡弔慰金（本人）	9 件	450,000 円	24 件	1,200,000 円
死亡弔慰金（配偶者）	9 件	225,000 円	14 件	350,000 円
死亡弔慰金（親族）	327 件	3,270,000 円	343 件	3,430,000 円
合 計	2,881 件	34,045,000 円	2,897 件	34,550,000 円

イ 物資斡旋事業

昨年度に引き続き、各地方の特産品など、季節に合わせた物資のあっせんを行った。なかでも、八尾のえだまめのあっせんについては非常に人気があり、計画以上の申込があった。

ニュース掲載号	斡旋商品名	事業計画	実績
4・5・6月号	八尾のえだまめ	40件	48件
4・5・6月号	北海道グリーンアスパラ	30件	15件
4・5・6月号	家庭常備薬あっせん（デジタル）	100件	6件
7・8・9月号	佐藤錦 自宅用バラ詰め1kg	40件	21件
7・8・9月号	ふらの赤肉メロン優品1.6kg2玉		9件
7・8・9月号	島原そうめん		101件
10月号(web版)	雪蔵甘熟メークイン	40件	0件
10月号(web版)	じゃが豚		1件
11.12月号	生本ズワイガニカニすきセット	年末あっせん 120件	15件
11.12月号	生本ズワイガニしゃぶしゃぶセット 3L		9件
11.12月号	生本ズワイガニハーフポーション		13件
11.12月号	生本ズワイガニサイドカット		19件
11.12月号	活べとらふぐてっちりセット		18件
11.12月号	ホタテ貝柱		7件
11.12月号	辛子明太子		2件
11.12月号	家庭常備薬あっせん（紙媒体）	100件	95件
1.2.3月号	愛媛オリジナル品種甘平	30件	12件
1.2.3月号	デコボン		11件
合計		500件	402件

(2) 健康維持増進事業（公1）

令和5年度は、人間ドックの補助額を変更したが、利用件数としては微減ではあるが大きな減少には至らなかった。健診補助の件数としては、昨年とほぼ同件数となった。

給付名称	補助額	令和4年度	令和5年度	
		実績	計画	実績
一般健診（OCS 健診含む）	1,600 円	3,741 件	3,500 件	3,663 件
一般健診（35 歳未満）	1,000 円	982 件	954 件	978 件
付加健診（本人）	3,200 円	724 件	714 件	717 件
人間ドック（会員・配偶者含む）	3,600 円	140 件	136 件	123 件
合 計		5,587 件	5,304 件	5,481 件

(3) 自己啓発事業（公1）

新入社員研修は、昨年の13名より増加しており、コロナ禍収束後の企業活動の高まりを感じる結果となった。また、引き続き、日本公認会計士協会近畿会と協力し、不正会計についてのセミナーを行った。

事業名称	掲載号	令和5年度	
		事業計画	実績
新入社員研修	1・2・3月号	25名	21名
退職準備セミナー	11・12月号	10名	25名
公認会計士セミナー	11・12月号	30名	11名
合 計		65名	57名

(4) 余暇活動事業（公1）

自主企画事業について、コロナ禍が収束したことで、利用数はほぼコロナ禍前の水準に戻ったと言える。ビアガーデンチケット・クリスマスグルメギフト等の個人で自由に利用できる食事券については、利用数も多く好評であった。社会全体の生活様式の変化に伴い、会員の事業に対する要望は、大規模なイベントよりも小規模もしくは個人利用が可能なサービスを好む傾向がうかがえた。

お年玉プレゼント抽選会については、例年好評であるビアガーデンチケットを目玉賞品とし、他にも昨年の2倍の協賛賞品を加えたことで、多くの応募があり、非常に好評を博した。

宿泊利用補助については、昨年に引き続き利用数が伸びており、コロナ禍前の水準に戻ったと言える。チケット販売についても、東京ディズニーリゾートをはじめとした大型レジャー施設の利用数がコロナ禍前を上回っており、需要の高まりを感じた。

会報誌掲載のチケットについては、展示会系のチケットが多くの申込があり、自主企画事業と同じく、期間中はいつでも利用可能という点が人気の一因となったことがうかがえる。Web版で発行した10月号については、閲覧数が少ないことが予想されたため、募集期間の長いチケット等を掲載し、11・12月号に再掲載することで申込数の確保と、10月号の存在をアピールした。

ア 自主企画事業

事業名称	事業計画	実績
磯の生き物観察体験	40 名	14 名
すだて漁体験	40 名	9 名
七月大歌舞伎&ホテルランチ特別プラン	40 名	30 名
ビアガーデンチケット マリオット都ホテル「COOKA」 大阪新阪急ホテル「オリンピア」 阪急レスバイア大阪「グリリアートクオッカ」 セントレジスホテル大阪「セントレジスバー」	計 400 枚	71 枚 計 176 枚 55 枚 22 枚 28 枚
ソフトボール大会	12 チーム	雨天中止（8 チーム）
千早川マス釣り体験	10 名	10 名
ディズニー・オン・アイス	200 枚	71 枚
アソビュークーポン	150 名	107 名
アソビュー味覚狩りクーポン	150 名	48 名
ホテルランチ&アフタヌーンチケット	50 枚	89 枚
クリスマスグルメギフトコード 31 アイスクリーム ミスタードーナツ ピザーラ スープストック東京 Cake.jp	計 500 枚	計 249 枚
ニフレルひな祭り&バックヤードツアー	40 名	25 名
お年玉抽選会	130 名	130 名 (参加者数 1,253 名)
ウインターブッフェ	100 枚	17 枚
合 計		2,098 名

イ 宿泊利用補助

施設名称	種別	補助額	事業計画	実績
JTB	会員	2,000 円	30 泊	22 泊
亀の井ホテル（旧かんぼの宿）			35 泊	16 泊
休暇村			55 泊	58 泊
湯快リゾート			100 泊	88 泊
小 計			220 泊	184 泊
JTB	家族	1,000 円	35 泊	30 泊
亀の井ホテル（旧かんぼの宿）			40 泊	20 泊
休暇村			85 泊	114 泊
湯快リゾート			190 泊	187 泊
小 計			350 泊	351 泊
合 計			570 泊	535 泊
令和 4 年度実績			490 泊	

ウ 年間チケット

事業名称	令和 5 年度	
	事業計画	実績
東京ディズニーリゾート（特別利用券）	500 枚	910 枚
海遊館	210 枚	164 枚
天保山大観覧車	45 枚	31 枚
アドベンチャーワールド	185 枚	137 枚
ナガシマスパーランド	265 枚	274 枚
ひらかたパーク	310 枚	130 枚
ニフレル	135 枚	91 枚
TOHO シネマズ TC パスポートチケット	400 枚	300 枚
なんばグランド花月指定席予約引換券	—	114 枚
関西サイクルスポーツセンター（プール+BBQ）	—	20 枚
六甲山スノーパーク	—	38 枚
スキージャム勝山 JAM パック券	—	12 枚
阪神甲子園球場公式戦(年間シート計 496 席・その他 72 席)	420 枚	538 枚
ガンバ大阪シーズンチケット	60 枚	32 枚
合 計	2,530 枚	2,791 枚
令和 4 年度実績	2,576 枚	

エ その他チケット

ニュース掲載号	チケット名	実績
4・5・6月号	文楽鑑賞教室～大人のための文楽教室～	5枚
4・5・6月号	SUNNY	1枚
4・5・6月号	おかしな二人	5枚
4・5・6月号	BURN THE FLOOR	1枚
4・5・6月号	ピカソとその時代展	30枚
4・5・6月号	ゴッホ展	69枚
4・5・6月号	佐伯祐三展	30枚
4・5・6月号	特別展「毒」	52枚
4・5・6月号	ジブリ展	12枚
4・5・6月号	シルク・ドゥ・ソレイユ ダイハツ アレグリア	66枚
LINE 配信	よしもとお笑いライブ	7枚
7・8・9月号	夏休み文楽特別公演	2枚
7・8・9月号	超絶技巧展	15枚
7・8・9月号	科学漫画サバイバルシリーズ「絶体絶命」展	33枚
LINE 配信	よしもとお笑いライブ	2枚
10・11・12月号	長沢芦雪展	32枚
10・11・12月号	もしも猫展	2枚
10・11・12月号	コシノジュンコ展	4枚
10・11・12月号	わが街、道頓堀～OSAKA1970～	10枚
10・11・12月号	ウクライナ国立バレエ「ドン・キホーテ」	2枚
10・11・12月号	ミュージカル「クリスマス・キャロル」	4枚
10・11・12月号	大阪モーターショー	10枚
10・11・12月号	なばなの里イルミネーション+ベゴニアガーデン	22枚
10・11・12月号	さくらももこ展	10枚
10・11・12月号	神韻 2024 日本公演	2枚
10・11・12月号	MUCA 展	11枚
1・2・3月号	QUEEN + ADAM LAMBERT	10枚
1・2・3月号	ミュージカル「ボディガード」	7枚
1・2・3月号	きかんしゃトーマスファミリーミュージカル	2枚
1・2・3月号	モネ展	73枚
1・2・3月号	OSK 日本歌劇団 レビュー春のおどり	9枚
1・2・3月号	ディズニー展	22枚
1・2・3月号	milet 5 th anniversary live “GREEN LIGHTS”	14枚
1・2・3月号	大阪フィルハーモニー交響楽団 大阪狭山特別演奏会	2枚
合 計		578枚

3 情報提供事業

SNS（Instagram および Facebook）を積極的に活用して、会員及び会員外への認知度向上を図るとともに、ハッシュタグ収集システムを導入し、SNS に投稿された会員の利用状況やサービス内容を写真や画像でホームページに反映させ、視認性を高めることで会員拡大のツールとした。

ホームページについては、上記以外にも、デザインをガイドブックと統一することで、利用しやすい環境を構築し、利用促進に努めた結果、令和 5 年度の年間アクセスユーザー数が 50,104 名（前年度 45,836 名）と順調に増加した。

LINE については、こちらもホームページと同様にデザインをガイドブックと統一し、メニューの視認性を高めることでホームページへのアクセス促進に努めた。あわせて、配信のタイミングを他の公式アカウントの配信時間とずらす等の工夫をし、会報誌には掲載していないチケットやプレゼント情報を配信することで特別感を演出した。

また、LINE のお友達登録者数については、継続して会報誌にお友達募集記事を掲載したことで、355 名増加し、2,188 名（前年度 1,833 名）となった。

ガイドブックについては、QR コードの設置数及び配置を見直すことで、ホームページへのアクセスに伴うスマホの操作性を向上させ、会員がより簡潔に最新の情報を得られる仕組みを構築し、これまで以上に明瞭化に努めた。

項目	内容
ホームページ	事業内容、最新情報の掲載、事業周知、利用申込
LINE	チケットやイベントなどのお得な情報の提供
Instagram Facebook	会員外への広報活動
OCS ニュース (発行部数：15,000 部/1 回)	イベント・セミナー等の主催事業、各種チケット、あっせん等のお得な情報を提供（5 回/年） 発行月：4・5・6 月、7・8・9 月、10 月（web 版）、 11・12 月、1・2・3 月
OCS ガイドブック (制作部数：16,000 冊)	2024 年度版 OCS ガイドブックの製作 (事業内容・利用方法等を掲載した冊子)

4 退職金共済事業（公2）

退職後の生活基盤の安定を図るため、所得税法施行令第73条に基づく「特定退職金共済団体」として、各委託保険会社とともに当財団の福利厚生制度の一つとして制度の普及に努めた。

令和5年度は、廃業による解約が1件あったものの、追加加入や掛金の増額が前年度に比して多かった。

また、令和6年度から掛金休止制度を導入するにあたり規程の改定をおこなった。

加入状況

令和4年度		令和5年度	
契約者数（社）	被共済者数（名）	契約者数（社）	被共済者数（名）
66	434	65	437

脱退一時金支給実績

令和4年度		令和5年度	
件数（件）	金額（円）	件数（件）	金額（円）
77	37,535,235	68	20,530,928

5 その他

（1）（一社）全国中小企業勤労者福祉サービスセンター等との連携

福祉サービスセンターの全国組織である（一社）全国中小企業勤労者福祉サービスセンター（以下「全福センター」という。）に加盟しており、令和5年度は全福センターが実施する近畿ブロック協議会の代表委員として参加し、また、全福センターが推進しているワンコイン労災・入院あんしん保険や全福センターが契約する施設等を会員に周知した。

（2）「おおきにネット」連携

（一財）大阪労働協会と大阪府下の中小企業勤労者福祉サービスセンターや勤労者互助会等（以下「各市共済会」という。）がそれぞれ提携している割引協定特約施設（店舗）を共同化することにより、各市共済会の福利厚生の上と拡充を図った。

・各市共済会 20団体 会員数合計 約49,000人

IV 会議

1 第1回理事会 令和5年5月24日(水) 大阪産業創造館

- 議案 (1) 令和4年度事業報告及び収支決算について
(2) 事務所移転について
(3) 臨時職員就業規則の改定について
(4) 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の改正について
(5) 令和5年度 第1回評議員会の開催について

2 第1回評議員会 令和5年6月16日(木) 大阪産業創造館

- 議案 (1) 議長の選任(案)について
(2) 令和4年度 事業報告(案)及び収支決算(案)について
(3) 役員等の報酬及び費用弁償に関する規定の改定(案)について

- 報告 (1) 事務所の移転について
(2) 臨時職員就業規則の改定について

3 第2回理事会 令和5年11月7日(火)

- 議案 (1) 「会員に関する規則」の改定について

- 報告 (1) 令和5年度 上半期事業報告並びに収支状況について
(2) 特定退職金共済制度規程の改定について
(3) 健康診断補助事業規程の改定について
(4) 事務所移転に伴う経費支出について
(5) 個人情報取扱事務要綱の改定について
(6) 特定個人情報取扱実務要綱の改定について
(7) 保有個人データの開示等に関する手続きの改定について

4 第3回理事会 令和6年3月6日(水) 大阪産業創造館

- 議案 (1) 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
(2) 役員の選出(案)について
(3) 会員に関する規則の改定(案)について
(4) 慶弔給付規程の改定(案)について
(5) 特定退職金共済規程の改定(案)について
(6) 令和5年度 第2回 評議員会の招集(案)について

5 第2回評議員会 令和6年3月26日(火) 大阪産業創造館

- 議案 (1) 議長の選任(案)について
(2) 理事の選任(案)について

- 報告 (1) 令和6年度事業計画及び収支予算について
(2) 令和5年度事業執行状況報告及び決算見込みについて
(3) 会員に関する規則の改定について
(4) 慶弔給付規程の改定について
(5) 特定退職金共済制度規程の改定について
(6) 立入検査の結果報告について